

3 平成 28 年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4 年間の目標 (平成 28 年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	生徒の特性や地域の実情を踏まえながら、単位制の利点を生かしたカリキュラム・マネジメントに取り組む。 生徒の学習意欲の向上を図るとともに、基礎学力の定着と思考・判断・表現力を養うため授業改善の一層の推進を図る。	アクティブラーニング型授業を効果的に行う研究を進め、生徒の学習意欲の向上を図るとともに、知識・技能のみならずジェネリックスキルについての育成にも取り組む。	教員相互の授業見学(2ヶ月間)や研究授業等により、アクティブラーニング型授業の研究に取り組み、授業改善を図る。	生徒アンケートの「主体的に学ぶ」・コミュニケーション能力の項目の「高まった」が80%以上になったか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	部活動の一層の活性化を図るとともに、部活動を通じたリーダーシップ教育を推進する。 教育相談体制をさらに充実させ、組織的な生徒支援を行う。	部活動の入部率を昨年度より3%以上の上昇を目標にし、全校で90%以上の加入率を目指す。	5月の連休明けに入部していない1年次生、夏季休業が終わった段階で未加入及び退部した生徒を対象に入部説明会等、加入推進の働きかけを行い加入率アップを目指す。	部活動の入部率が90%以上になったか。					
3 進路指導・支援	生徒の課題発見力・課題解決力を高め、キャリア育成を図る。 個々の生徒の進路希望実現のためきめ細やかな支援を組織的に行う。 これからの社会を担い、積極的に社会参加する生徒の能力と態度を育成する。	キャリア教育の一環として政治参加教育について、外部機関と連携し体験的な取り組みを実施する。	各学年ごとに、外部機関及び講師による講演等を実施し、政治に対する意識の高揚を図る。また、組織的に模擬投票に取り組む。	シチズンシップ教育を通じて、生徒の政治参加への意識が高まり、アンケートによる結果が、50%以上になったか。					
4 地域等との協働	地域との協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。 ボランティア活動等を通して、地域と連携した教育活動を推進する。	地域貢献活動の計画的実施と地域連携の一層の推進を図る。 生徒によるボランティア活動の充実を図る。	旧モーガン邸の保全活動・土嚢作り・地域清掃を3本柱にした計画をたて、10月実施に向けて準備を整える。 「アジサイ祭り」「藤沢宿場まつり」等の地域イベントへ生徒会役員・ボランティア部・委員が積極的に参加する体制づくりを確立させる。	地域貢献活動が計画的に実施できたか。 生徒によるボランティア活動への参加件数が3件人以上増えたか。					
5 学校管理 学校運営	教育環境の整備に努め、安全安心で、明るい学校づくりを推進する。 事故・不祥事防止を徹底し、職員が前向きに取り組める、風通しの良い職場づくりを推進する。	日常的に元気のよい「挨拶」が飛び交うように心がけ、明るい学校づくりに努める。	週一回定期的に生徒会役員が中心となり「あいさつ運動」を定着させる。また、委員会・部活動の生徒も巻き込んで「あいさつ運動」の拡大を計画する。	挨拶をする生徒が、80%以上になったか。					